

GRASS SKI

FIS World Cup 2004

転戦日記

—— The Grass Skier 飛鳥井匠哉 世界への挑戦 !! ——

平成 16 年 9 月 5 日
(有)ダイチ Ds'Factory
DLWH Grass Ski
TEAM DLWH

概要

2004.08.17 - 2004.08.31
FISレース チェコ プラナ大会
FISワールドカップファイナル チェコ ノベメスト大会

www.DAI-CHI.co.jp ¹

飛鳥井匠哉 OFFICIAL WEB SITE²

DLWH News³

ダイチ掲示板⁴

Copyright © 2004 Pro Shop DAI-CHI All right reserved.

¹<http://www.dai-chi.co.jp/>

²<http://www.dai-chi.co.jp/takuya.htm>

³<http://psdaichi.ld.infoseek.co.jp/diary2.html>

⁴<http://www2u.biglobe.ne.jp/~DAICHI/wwwboard/board2/minibbs-9.03.cgi>

目次

1 DLWH News ダイジェスト	3
1.1 FISワールドカップへ向けてヨーロッパへ出発(08月17日)	3
1.2 最も大切な事は腰の向き(08月18日)	4
1.3 ゲート練習をはじめました(08月19日)	5
1.4 いよいよチェコリパブリックへ(08月24日)	6
1.5 非武装地帯その2と大会会場で...(08月24日)	7
1.6 「BRANNA」とは一体チェコのどこにあるんでしょうか?(08月24日)	8
1.7 先ずはGSから...1本目は10位!これってあり?(08月24日)	9
1.8 競技2日目、今日は本命のSLです(08月24日)	10
1.9 16位...第1シードを落とした...(08月24日)	11
1.10 今日からまたオーストリア(08月24日)	12
1.11 7年目にしてはじめて(08月25日)	13
1.12 シュピンカ・クラウスのプロフィール(08月26日)	14
1.13 引き続きアシュナウでのトレーニング(08月26日)	15
1.14 再びチェコへ(08月30日)	16
1.15 WCファイナル GS第1戦(08月30日)	17
1.16 FIS WCファイナル GS第2戦(08月30日)	18
1.17 FIS WCファイナル スーパーG(08月30日)	19
2 ダイチ掲示板ダイジェスト	20
2.1 2004.08.17	20
2.1.1 応援ありがとう!	20
2.1.2 飛鳥井で金、あっすーでも金。	20
2.1.3 あらら??	20
2.1.4 盛大なもりあがり	20
2.2 2004.08.18	20
2.2.1 無事オーストリアへ戻りました。	20
2.2.2 そっかー	20
2.3 2004.08.19	20
2.3.1 はじめまして!	20
2.3.2 スキーグラフィック	21
2.3.3 29日に初参加のお二人へ	21
2.4 2004.08.20	21
2.4.1 YUKIさんって?	21
2.4.2 フレー・フレー飛鳥井!!!	21
2.4.3 たまったー	21
2.4.4 心・技・体	21
2.4.5 Re: 心・技・体	22
2.4.6 図太く生き様!	22
2.4.7 心の数値	22

2.5	2004.08.21	22
2.5.1	チェコから連絡が!!	22
2.6	2004.08.23	23
2.6.1	国内組も善戦	23
2.7	2004.08.24	23
2.7.1	皆さんがんばってますね - 。2004グラススキー WC 転戦記更新中!	23
2.7.2	全日本選手権に	23
2.8	2004.08.25	23
2.8.1	一気にいっぱい更新しました。	23
2.8.2	WC 転戦 楽しんでますか?	23
2.8.3	使い方が5段活用に....	23
2.8.4	進化の過程	24
2.9	2004.08.26	24
2.9.1	明日からまたチェコへ行きます。	24
2.9.2	遠い空からの激励ありがとう	24
2.10	2004.08.27	24
2.10.1	おーヨセフ!	24
2.11	2004.08.28	24
2.11.1	チェコより	24
2.12	2004.08.31	24
2.12.1	無事に帰国しました.	25

1 DLWH News ダイジェスト

1.1 FISワールドカップへ向けてヨーロッパへ出発(08月17日)

ワールドカップファイナル チェコ ノベメスト大会FISレース チェコ プラナ大会 へ向けて8月17日にオーストリアへ移動します。今シーズンのヨーロッパへのチャレンジについては悩んだ時期もありましたが、ストレングス的には地道に過去の最高水準まで上がったこと初動負荷に対する抗力が上がったことメンタル的には暫く「大会」と言われるものにでなくて緊張する局面が少なく、「つらい」ものでなくなった事そもそもまたヨーロッパでグラススキーをやる気になったこと技術的には完全に昨年までの技術の組立を忘れて、脚の付け根からスキーまでを直線的に使いスクワット運動が出来る事でヒフク筋や、大腿筋の付根ではなく膝に近い部分がバランス良く太くなりなんとなくアスリートらしくなった事…今までよりも更に楽しく仲間とトレーニングが出来て、自然に進化を感じる事ができました。今は進化した自分の力を発揮してどんな成績を掴み取る事ができるか楽しみです。得意のスラロームのレースが少ない遠征ですが、そんな事は後のお楽しみ...パージー(SGL)だろうがGSだろうが、なんでも良いから試合に出たい!ヨーロッパで戦いたい! そう想っています。できれば毎日「遠征日記」を更新したいと思います。 画像は新しい装備をつけた「進化したグラススキー」です。



第 2.1節：掲示板ダイジェスト (2004.08.17) も御覧下さい。

1.2 最も大切な事は腰の向き (08月18日)

シュピンカ先生曰く「最も大切な事は腰の向き(ターン外向きが適正な事)...悪い事の全て(ローテーションやヒップアウトサイド)は腰の向きの間違った設定により起る」そうです。シュピンカ先生自身も「ライナーションフェルダー」を見習い、完全なフォーム変更(ターンとターンの間で立ちあがらない)をしてから調子が良いそうで、たいして練習もしていなかった6月のFISレースで上位入賞したそうです。「進化するアルペントレーナー」は本当に素敵です。今日はなんと「栗野利信さん」から激励のメールを頂きました。やまちゃんが掲示板に書いてくれた事と同じような事をいっていただきました。私自身良いのか悪いのかわからないけど、けっこう「その気」になっていていつもの様に引いてはいません。悪い条件のピステにも自分自身はたいして驚いていなくてグラススキーの方が驚いたみたいで途中で「もう休ませてよ!」って言っていました。転戦日記真剣に書きます。画像は今日一緒に練習した。天才少年アレサンドロ君(通称アレー)彼はアルペンスキーできっと世界チャンピオンになります。と、人質事件をパロツタ不届き者の「進化するトレーナーシュピンカ先生」です。今から本番用のスキーを作ります。朝、練習用のスキーを作っているとき、聡くんが荷を造ってくれたのを思い出して少しセンチメンタルな気分になりました。以外と滑れている自分が仲間と一緒にトレーニングをした成果なんだと実感しました。またあした。



第 2.2節：掲示板ダイジェスト (2004.08.18) も御覧下さい。

1.3 ゲート練習をはじめました(08月19日)

今日は、ゲート練習をはじめました。でも1日終わってないけどいろいろ有りました。まずは「コンクリートの様に固い地面」といったの冗談じゃなくて...ゲートを立てるための穴があかないんです。コンクリートドリルであけました。でも大変だったな...で、練習はじめて、きょうはイマイチ滑れなかったな - と思いながら滑っていました。ローラーが地面の固さからだんだんこぼこになってくるんです。こんなのはじめて! でも、後でビデオを見たらたいしてシュピンカ先生と変らなかったな...駄目出しされまくったんですけど...内容は「ローテーション」...いつも私が週末グラススキー教室で駄目出ししている内容そのまま...悔しかったな - ...やっぱり条件が難しくなると「ON」しがち...それでも「2 3本待ってる!」「黙らせてやる!」って思いながらがんばりました。勿論全ての返事は「YES」でしたが...そして、シュピンカ先生と私の共通の友人が昨年スキーの最中立ち木にぶつかって死亡。お墓参りに行きました。オーストリアってなんでこう言うの多いんだろう...シュピンカ先生泣いてタナ...「鬼の目にも涙」最後は明日からチェコに行くのでいろいろ調べました。って場所がわからないんだよな - ...ホンと地図を2人がかりで調べただけど...ネメッツ・ヤンに電話して、チェコのOSを見たら地図があって、場所がわかったんだけどそこでやな物見ちゃったんです。それが今日の画像。あの見えなくなった斜面の後どうなってんの???めっちゃ急だろ! しかも650mだって?あーグーテンシュタイン、アゲイン...やっぱりSLだけにしてもいいかな?



第 2.3 節：掲示板ダイジェスト (2004.08.19) も御覧下さい。

1.4 いよいよチェコリパブリックへ(08月24日)

いよいよチェコリパブリックへ今日は FIS レース参加の為、16時からの公式トレーニングに合わせてオーストリアを発ちました。いよいよグラススキー最強国「チェコ共和国」へ出発です。旅の途中国境付近、すごいチェックが厳しかった...パスポート 国際免許 国内免許 車検証 全て見られた。そして非武装地帯?(写真参照) 非武装地帯はチェコが占拠していて何故か外貨獲得の為に国営遊園地 スーパー、そして??? (日記には書けない) があった。未だ最凶のコムニストカントリーと言わざるをえない。怖かった。道中標識があまりなく、到着には7時間を要した。16時前には到着したものの公式トレーニングは雨の為中止...チェコの選手はすっかり前日までトレーニングしていたのに...今回の FIS レースはシーズン終盤 WCF の前という事もあり、主要国はほぼフルエントリーしていて男女子供合わせて100名くらいのエントリーがあった。特に子供が多い。ロシアもグラススキーをはじめたらしい。ロシアチームのトレーナーはロシアオリンピックチームのウエアーを着ていて「おまえがやれよ!」ってくらいでかて怖かった。部屋は、テレビもインターネットも電話もなくしかもドイツ人と相部屋に押し込められてなかなかの歓迎ぶりだ。建物は普通真っ直ぐなものが曲がっていたり、傾いていたり、以前の中野聡君の工作のようだった。(写真参照) 因みにルームメイトは「ゴールドナー・フローリエン選手」で2000年の徳島での JRWC で優勝している。現在は全種目第1シードの素晴らしい選手です。ジュースでも洗剤でもなんでも買ってきてくれるし、とてもいい奴だった。これから発表する画像の多くは彼が撮ってくれたものです。なんだか最近年下が多くなったと感じた1日でした。



1.5 非武装地帯その2と大会会場で...(08月24日)



第 2.7節：掲示板ダイジェスト (2004.08.24) も御覧下さい。

1.6 「BRANNA」とは一体チェコのどこにあるんでしょうか?(08月24日)

Znojmo

Brno

Olomouc

Mohelnice

Zab?eh na Morav?

?umperk

Hanu?ovice

Branna

いきなりなんのこっちゃ? 因みにこれは大会組織委員会の「BRANNA」とは一体チェコのどこにあるんでしょうか? ってメールで聞いたときの応えです。日本のみんなも誰か外国の人に「すーちゃんちってどこ?」と聞かれたら成田ー東京ー練馬ー藤岡ー佐久平ー臼田のどこかと応えてあげましょう。自国語で文字化けを交えて。コースはこんな感じでした。ヨーロッパの中ではまともな方。雨が降っていて地面も柔らかく、凹凸もあまり感じませんでした。画像は 芝生の状態と、最初の緩斜面(芝生がない)



1.7 先ずはGSから...1本目は10位!これってあり?(08月24日)

さて、大会レポート先ずはGSからコースは650mもあって前半の150メートルは斜度がなくて難しそうでした。後半は中斜面が続き非常にスピードが出ます。飛鳥井選手のスタートは第1シードの14番、GSはこちらに着てからも練習していなくて、あまりいろいろ考えずにすみしました。精神的には、「これから起こる事の全ては今までの練習の結果」と割り切っていたので良い感じでした。技術的には地面の凹凸を感じることなく、スピードがある中でOFFを継続する事。第1シードの注目選手達は緩斜面の滑らせ方も超一流で、常識外れでした。とくに「ネメッツ・ヤン」選手はスケータリングとハンドプッシュに「ヒップインサイド」を巧みに交えていて素晴らしかった。タイム差の多くはここでもついたと思われます。コースが長くて単独での参加の私にとっては情報戦では完全に失敗しました。途中、数名の選手がコース会うとしているのを知ったのですが、どこにそんな問題があるのか解らず、少しナーバスに...スタート!オンとオフが交互に来る...オフで安心してオンで慌てる...オンの瞬間はとんでもない凹凸が襲って来るのですぐにわかります。そんな中、1本目は10位!これってあり????ビックネームの中に入った!2本目ハンドプッシュに集中しすぎて中斜面突入後バランスを崩した...特にタイムロスはないと信じていましたが、その後のターンの半分くらいのラインを上げてしまった。これが命取り...若い奴らに逆転を許し、12位に順位を落とした...残念。同日開催のスーパーGほんの少し守ってしまっただけのランで簡単に順位が入れ替わる...これがこのレベルの大会の怖さ...自分の中で「もう1秒くらいは速く滑れるかな?」と思ったらほんとにそうしないと5人に負ける。その5人が第1シードに入るかどうかの明暗を分ける...スーパーGでも同様の事を学んでしまった。42秒なら10位前後に行けた。43秒かかってしまったので17位...シーズン中、日本でのほほんとしてしまった私と毎週このレベルのレースをしているヨーロッパとの差が出た...それが解っただけ楽しめました。画像はスタートの様子です



1.8 競技2日目、今日は本命のSLです(08月24日)

競技2日目今日は本命のSLです。スタートは第1シードの4番。雨も降っていて、地面も悪く第1シードの中でも良いスタートで安心していた。画像はSLの準備中とチェレ(フォースト・チェレンティン)ITA、95kgに喧嘩売ってみました。



1.9 16位…第1シードを落とした…(08月24日)

しかし、インスペクションの最中ゲートをチェックしていてこの後の結果を危惧した。実はアシュナウ(シュピнкаヒル)での練習中トレーナーのセットにびっくりした。インターバルは短いのに凄く左右に振っていたから…まさかこんなセット FIS レースとはいえないだろう…シュピнка先生はあと1メートルは横に振っても滑れる必要があると言っていた。うそでしょ…それでもそのときはバランスを少し崩したり、少し小さな失敗をしながらも練習はできた。前半のスローなセクションの後、ヘアピンを交えてからそのセットが立っていた。ありかよ!一気に心中が崩れた。自分のスタートの直前の3人を見てしまったと言うか、音を聞いてしまった。リズムが速い!そしてスタート…例のセクションの後…リズムが変わる…「失敗しているのか?」取り戻せないままゴールしてしまった。16位…第1シードを落とした…すごくショックだった。2本目今度はアクシデントに見舞われた。ブーツがスタートに届かない…焦ったと言うより「なんでよりもよって俺のだけ?」そうってしまった。順位を落とした…画像はスタート直後の直角カーブとチョットタイミング悪いけどスタート、ヨセフパパにとってもりました。



1.10 今日からまたオーストリア（08月24日）

今日からまたオーストリア。テレビもあります。昨日シュ先生から電話があり「いまどこだ？明日は多分午前中ゲートセットと少しだけテクニックの勉強をする」出発前は「月曜日は大会後で疲れる。練習はなし」だったので、まあ、疲れない程度に何か教えてくれるのかな？と...朝起きるとさすがに体が重い...朝8時に電話あり。「今から30分後には始める。フリーライディングのHOW TOを練習しよう。」あーなんか話が大きくなりつつある...8時25分にはゲレンデに着いた。シュ先生は8時20分にはついていて、既にリフトに乗ろうとしている。「早くしろ!レッスンを始める。」って、レッスンかよ!リフトで上に着くと、「バリエーショントレーニングの全てを教える」話しは今最大になった。ノーストックから始まり、ショートゲートまで15本は滑った。大会で負けて、うすうす何が基本の段階で不十分だったのか気が付いていたがシュ先生は大会の会場にいたわけでもないのに、それらの全てを補う為の練習を詳解してくれた。「今ヒップインサイドは進化した!!!」そう感じるに十分な内容だった。「もう一度戦ってみよう!」そう思えた。明日からのGSゲートセットはすべてシュ先生がやってくれた。昼飯もおごってくれて、なんだかとてもサービスが良いと思っていたら「午後から手伝え!」と家の周りの作業を手伝わされて最悪のおちが待っていた。画像はアシュナウ村のゲレンデの反対の山の上って撮ってみました。真中の長方形が全てゲレンデ 右上の白いチョコっとしたのがスタート台大回りで20ターンくらいできます。村の真中辺の建物がぼくのアパートです。



1.11 7年目にしてはじめて(08月25日)

8月24日昨夜は一番近くのレストランで食事をしました。一番近くなだけに実は以前に1回しか行った事がなくて、あまり興味もなかったんだけど、実はすごく美味しいメニューがあって驚いた。鶏肉の間にハムと玉葱あえた具が挟まり、きのこのソースがかかり、オープンで焼かれている。美味しすぎてやばかった! シェフに思いきり日本へ来て店を出せと薦めてしまった。10年前に日本に来た事があるけど高くて何も買えなかったと言っていた。今ではヨーロッパの方が物価が高いはずなのに... さて今日のアシュナウでの練習は生徒たちに囲まれて幸せに行われた。子供達はマジで上手い! 本当に良い見本なので是非日本のみんなにも見てもらいたい。見ればすぐに解ります。「ああしてるから滑れるんだ」って...フリーライディングはだいぶオーストリアノリになってきて、全くバランスを崩さなくなった。昨年まではシュ先生には「基礎」しか教えてもらえていなかった...今年「基本」を教えてもらえるようになってすごく嬉しかった。本格的な大回転の練習にも入った。20近くゲートがあるのに「進化したフリップインサイド」を使えばほとんど疲れない。そして今日は驚くべき事にシュ先生と付き合い出して7年目にしてはじめて滑りを誉められ自身の感想を聞かれた。今までは自身の感想など丸っきり参考にならないようで尋ねられる事などありえなかった。グラススキーの場合速く滑れるようになると「速く滑れた」と言う実感はない。スピードが速い特に感じるはずのバイブレーションは本当に早く滑れたときには感じるはずがないから。そういった意味で今日は実は誉められたときに、実感はなかった。これが夢でなければ良いのになー画像はリハビリ中で大会に出てなくて少し小さくなったヨセフと子供達と一緒にの様子です。



第 2.8節：掲示板ダイジェスト (2004.08.25) も御覧下さい。

1.12 シュピンカ・クラウスのプロフィール(08月26日)

今回の中心的な登場人物シュピンカ・クラウスのプロフィール 190cm78kg 43歳オーストリア国家検定アルペントレーナーグラススキー 1987年から95年まで8年間、4回SLで世界チャンピオン昨シーズンWCファイナルでSL5位最高時速96.8kmのギネスブック記録保持アルペンスキーオーストリア ニーダーエストライヒ州 元チャンピオンオーストリア国立スキー専門小中学校トレーナー 画像はシュピンカ先生の17年前の写真と8年前の写真...です。



第2.9節：掲示板ダイジェスト(2004.08.26)も御覧下さい。

1.13 引き続きアシュナウでのトレーニング (08月26日)

8月25日引き続きアシュナウでのトレーニング、今日は今回はじめてシュピンカ先生とマンツーマンで練習。練習中は歯を見せる事禁止、私語禁止、質問禁止、お手本で見た事をこなす事だけに集中する事...そんな雰囲気での練習です。昨日も今までにない事を教わりだしたと書きましたが、今日も1ゲートつつゲートの側に立ってここからここまではこんな風に体を動かし、どこに目線を置いて、どこからどこまでどのようなターンをするか...地面に印しを残しながらそんな感じで詳しく教えてくれました。そこまで教わってしまうと、その後「ここで見ているから滑ってみる!」って言われて滑るのでホント緊張します。それができたらWC優勝みたいな感じに滑らないといけないみたいで...シュ先生は「自分はGSの専門家でない」と前置きしながら、自身の経験に照らして、SLも含め過去に「自分が勝ったレースは全て悪いコンディションのレースだった」と振り返りました。ストレスのないラインとタイミングの理解が人一倍進んでいたと...「今となって進化していたと想えるラインどり」それを教えていただいたのです。僕に一体何を感じているのでしょうか? 画像は今日の夜食べたオーストリア料理、毎日夜だけは美味しいもの食べてます。それとシュ先生のおうちです。



1.14 再びチェコへ(08月30日)

8月26日再びチェコへ今日は公式練習と、キャプテンミーティング...車で四時間くらいかけて移動しました。ノベメストはスキーリゾートで、クロスカントリーのWCなんかもやっていて、チェコでは有名なリゾート...毎年グラススキーの大会も開催されています。2007年のグラススキー世界選手権もここで開催予定です。はじめてのゲレンデでしたが、こんな良さそうな所はじめてみた!っていうくらい見た目は良かったのですが...いざ滑ると...四週間雨が降ってなくてカチカチでした...しかし、歴代のWC開催会場の中では一番恐怖感がなくて少し安心。止まる所もちゃんとあるし...



1.15 WCファイナル GS第1戦(08月30日)

8月27日 WCファイナル GS第1戦全てが万全な状態で試合に臨むことができました。ところが1本目、急斜面が終わった所でコースアウト...トップ選手と同じタイミング同じラインで滑り、最小のタイム差でゴールしようと思いましたが、やはり私にとってそれは、ほぼ未知のスピード...体が動かなかったのでしょうか...悔しさで頭を抱えました。でも挑戦できて良かった。 画像は表彰式の様子と3位(少し低い所)ネムコバ・カタリーナ選手(CZ)9月25-26日のDLWHキャンプに、来場予定です。超美人です。グラススキーヤーらしさは全くなくて、どこも太い所とかないです。きっと、超効率的なグラススキーイングをしているのでしょう。英語、ドイツ語、イタリア語、チェコ語、スロバキア語、ロシア語...など、話す事ができてなんでグラススキーをやっているのか意味不明です。因みにどう見てもつりあっていない?彼がいます。グラススキーもあまり上手ではありません。チャンスです!



1.16 FIS WC ファイナル GS 第2戦 (08月30日)

8月28日 FIS WC ファイナル GS 第2戦今日はいろいろとアゲインストな気持ちがあったのでしょうか...昨日のコースアウトの際、大きくスキーをずらしてしまい、大量の砂を入れてしまい、代わりのスキーがないこと...他の選手達はそうでなくても予め砂が入る事を考え、1レース1スキーを徹底していた事、そもそもそういったスキー場だという事を知らなかった事...この会場での経験が少なすぎる事...こんな事から...インペにて、急斜面の入り口で、「ここ1ヶ所くらい巻かせて頂いちゃいましょう...」等とおもってしまったのが命取り...スタート前のマインドコントロールもうまく行って、バランスを崩す事もなくゴールできたのですが...そもそも遅いスキーで1ヶ所巻いちゃったものだから、ラップから3秒くらいの遅れ(まあこれは普通)しかしいつもと違ったのは、みんなはなれたコース、速いスキーでめいいっぱい実力発揮したのか、なんとその3秒の中に35人!!! 2本目に残れる30位まで5人、0.4秒足りなくて取り返しのつかないレースをしてしまいました。さすがにいじけましたし、いつもいつも甘い自分と、一生懸命な他の選手達に温度差を感じました。参加選手は前週のFISレースと変らないんです。自分さえしっかりすればまた12位になれるんです。それ以上だつて... GSの画像はイングリット選手です。



1.17 FIS WC ファイナル スーパー G (08月30日)

8月29日 FIS WC ファイナル スーパー G 前日までスプリント(2本合計)の予定だったのがゴールを伸ばして1本になってしまいました。私の場合、SL GSは第1シードもしくは悪くても第2シードの最初で滑ることができるのですが、SGLは毎年の参戦数が少なく第4シード以降のスタートになってしまいます。今回は43番スタート...コースは荒れました。昨日までの時間割を大幅に変えて、インスペクションも最後...みんなが準備をしても自分は観客と一緒に第1シードの選手をビデオ撮影...そんな感じに過ごしました。SGLの場合トップシードの選手にも2通りのパターンがあり、ゲートとゲートのど真ん中で切り替えてきれいに縦長のターンを連続するパターンイタリアの選手達やネメッツ選手の様に直前までゲートを引きつけ、少し遅れ気味のラインをメイクするパターン...今回はどちらが有利か、ここで勉強出来ました。勿論トップシードの選手達はどちらにしても失敗はしませんから速いのですが、私は思いきって、「ネメッツパターン」に挑戦! 結果は2秒遅れの26位! タイム差があまりなかったので FIS ポイントは大幅に更新できそうです。昨日今日で大幅に順位が変わるわけもなく、26位は良いとは言えませんが、2秒の差は少し前向きに捉えて「明日につながる結果」です。挑戦して、成功できた事は「満足すべき内容」として、胸に刻み次の糧に... 今回はすごく多くの方に応援して頂いて本当に心強かったです。弱気になることが過去最も少なかったです。「いつか必ずヨーロッパで表彰台に!」まだこの挑戦を始めてたったの8年ですが、今回以降現実として考える事が出来そうです。そろそろ日本へ行きます 画像は「ヤン・ネメッツ選手」(CZ)ふじてんで一緒に練習出来るのが楽しみです。全日本選手権に向けてがんばりましょう。



2 ダイチ掲示板ダイジェスト

2.1 2004.08.17

2.1.1 応援ありがとう！

投稿者: asukai
Eメール:
題名: 応援ありがとう!

今回もまた多くの方に応援して頂き感謝しております。特に女性からの応援は今まであまり経験がなかったので嬉しいです。また、一方的ではなくて「私もがんばるから...」みたいな感じなのは頼もしいです。日記に「2004グラススキーヨーロッパ転戦記」をお伝えします。アテネに負けない感動があればいいな。

2.1.2 飛鳥井で金、あっすーでも金。

投稿者: やまちゃん
Eメール:
題名: 飛鳥井で金、あっすーでも金。

あっすー、ヨーロッパ転戦期待してるよ。アテネでも勝つ奴は最初から勝つ気でやってるもんね。気合だ!!!

2.1.3 あらら??

投稿者: す~ちゃん
Eメール:
題名: あらら??

なんだかにぎやかな BBS ですね 黄色い歓声が上がっているようですね 女の子の書き込みがこんなに多いのはじめてみた!! 良かったね~~~あっす~~~!!

“あっす~~~!!がんばってね~~~!! す~ちゃんも応援しているからね~~~ ” 黄色い声で読んでください。

2.1.4 盛大なもりあがり

投稿者: 飯塚
Eメール: asukaph@mail.wind.ne.jp
題名: 盛大なもりあがり

いやー (だみ声) 盛り上がってるねー!! 女の子の声援のあとじゃー言いにくいけど 飛鳥井選手 ガンバです。やっぱみんなに慕われるのは名実ともにチャンピオーネの証 きっと良いことがあると思います。応援してまーす。

2.2 2004.08.18

2.2.1 無事オーストリアへ戻りました。

投稿者: asukai
Eメール:
題名: 無事オーストリアへ戻りました。

いろいろ懐かしくてホンと戻ったって感じです。飛行場からの車の中、シュピンカ先生がライナーショーンフェルダールのコーチと春に3日間ディスカッションしたときの話で最新のスキーテクニックの話になり、「週末グラススキー教室お薦めのテクニック」(ターンの最中に脚を伸ばしターンとターンの間に立ちあがらない)がぴったりそれに当てはまるものだと言われました。だめだねむい…いきなり夜なので日記は明日から…

電話はまだ転送設定していません。明日に予定。43(国番号) - 676 - 342 - 7514これで直接かかります。

2.2.2 そっかー

投稿者: さいとー
Eメール:
題名: そっかー

やっぱりあのテクニックで間違いないんだね。いや、疑っていたわけじゃないんだけど…しかしショーンフェルダールのコーチか、さすがオーストリアだね出てくる名前が違うよ。

じゃあそっちで練習の成果をしっかりと発揮してきてね。またみやげ話を楽しみにしてるよ。

細身のすーちゃん外人娘みたいに見えるのは俺だけ?

2.3 2004.08.19

2.3.1 はじめまして!

投稿者: YUKI
Eメール:
題名: はじめまして!

こんにち。初めて書き込みさせていただきます。技術選ではいつもご一緒させて頂いていますが、HPを開設され、最近雑誌にも出ているし…こんなすごい方だとは!!!

ヨーロッパはどうですか? 良い結果が残せるよう頑張ってくださいね

2.3.2 スキーグラフィック

投稿者: さっと
Eメール:
題名: スキーグラフィック

やっと雑誌見つけました。発売日からずっと探してたんだけどこの辺の本屋さんに置いてなくて。ちょっと遠出して大きい本屋さんに行ったんだけどなくて。でも今日見つけました。

グラススキーがみんなに知ってもらえるって嬉しいですね。私もまたDLWHの人達と滑ることができる日を楽しみにしています。その時はよろしくお願いします。

2.4 2004.08.20

2.4.1 YUKI さんって?

投稿者: asukai
Eメール:
題名: YUKI さんって?

2004 グラススキー WC 転戦記毎日更新中です。たまに更新できないときは後でまとめてになるかもしれませんががんばってまーす。
<http://psdaichi.ld.infoseek.co.jp/cgi-bin/diary2/diary2.cgi>
YUKI さんってぼくよりずっと凄い YUKI さんですよ?最後の でわかった様な気がします。この度は書き込み頂き光栄です。無事に帰ったら東京でお茶でもしましょう。ホンと帰れたら...

2.4.2 フレー・フレー 飛鳥井 !!!

投稿者: ひでとも
Eメール: hmmh@gamma.ocn.ne.jp
題名: フレー・フレー 飛鳥井 !!!

いやぁ～、マジであの写真のとこ滑るの?しかも結構芝の色が、「ふじてん」のスリッピングポイントに似てるねえ...雨が少ないのか?もともとなのか?

いづれにしても飛鳥井選手なら、問題無しですよ!絶対に大丈夫!! 自信を持って挑んでください。応援してます。

ところで今日、3人で「ふじてん」行きました。かなり本人は喜んでいただき、「来週の土曜日だけ参加しようかなぁ」とも言っていました。しかも結構上手で、GSゲート上からパシバシ滑ってました。そんな訳で、こちらの方は任せてください。飛鳥井くんは全力を尽くして!! 帰ってきたら「進化したグラススキー・進化する飛鳥井」と題して裏本の制作とりがかるうか! では吉報待ってます!!

頑張れ!!!!

2.4.3 たまった---

投稿者: asukai
Eメール:

2.3.3 29日に初参加のお二人へ

投稿者: みちこ
Eメール: michikot0223@k4.dion.ne.jp
題名: 29日に初参加のお二人へ

大変お恥かしいお話ですが、しばらく携帯が使えなくなってしまいました。29日の週末グラススキー教室に初参加する約束だったお二人に連絡が取れなくなってしまったのが一番の気がかりです。メールはつながりませんが、ふじてんで待っています。私的な事に掲示板を使ってしまい、申し訳ありません。

飛鳥井さん、いよいよ明日から大会が始まりますね。頑張ってください。皆日本から応援してますよ!

2.4.4 たまった---

今丁度いろいろ終わって、これから寝る所なんですが、今日とはかくいろいろむかつくことが多くて、怒り心頭中。日記に書けなかった事書かせてください。まず、チェコの事... きっと良い国だと勘違いしていましたが、基本的には北朝鮮と同じ。スポーツ的ア・ウ・エ・イは間違い無しです。選手には仲の良い仲間もいますが、未だに場所や泊まるホテルの正式解答は無しです。10月にチェコが日本に着たら絶対に飛行場まで迎えは出しません!勝手に来い!! 特に選手以外はテント宿泊!で飯は弁当! 明日行かなければ行けないのはめっちゃめっちゃ遠くてここから8時間はかかりそう。チェコじゃなくてポーランドだもん! 当初の4時間半は偽情報... 関空から中尾山までは30分って言うことにするしかない!!

今日の練習中、シュピンカ先生に「腰支点のくの字になってるぞ!」(INできなくて必要以上に外側に傾いた状態)ってしてきされ、「センスが遅刻している間ストレッチしすぎた!」って言ったら「マジ切れ」してた。なので「2 3本待てる!」「だまらせてやる!」ってことになりました。そしたらSG掲載用の分解写真を手にして「待てる!」「欠点を見つけてやる」って言われちゃいました。そしてやまちゃんの写真見て「内膝が良いも TAKUYA と同じ欠点がある」なーんて、1日中でもスキーの話してそうでした。

こちらの大きな電気屋さんに行きました。欲しかったのは、ビデオの充電器、携帯とPCつなぐラインとデータチェコ用のモジュラージャック! って何一つ手に入らなかった!!! すーごい大きな建物でヨドバとかより大きいのに、「注文しないと入りません」って「他に売っているものがくだらなすぎる!」んだと思いました。たぶん運が良くないと明日から日記の更新はできません

最後に「あーつーいー」これでもヨーロッパか! しかもクーラーがどこにもない...でも夜中は寒い...砂漠かよ!!!!!!

英君多分横滑りとかはしません。凸凹だから止まるんです。中途半端にいくとやばそうなので例の作戦でやってみます。一緒に過ごした日々は忘れないからねエ ぐっす...

あーすっきりした。

2.4.4 心・技・体

投稿者: やまちゃん
Eメール:
題名: 心・技・体

井上康生選手が負けました、ある意味奇跡です。
 「いままで味わったことのない屈辱。」だそうです。
 井上康生選手のお父さんの談話で、「康生は末っ子で甘えん坊、もともと精神力は強いほうじゃない。だからこそ厳しい環境に身を置いているのでしょう。」と。
 練習では今だにピンタされることもあるそうです。
 新聞のコラムではこれらのしめくりとして、「技、体は整っていた。心の部分に揺らぎがあったのでは。」とありました。
 「勝たなければ。」ではなく「勝つんだ。」なのかなと。
 あっすーどうかな？

2.4.5 Re: 心・技・体

投稿者: ごーやん
 Eメール:
 題名: Re: 心・技・体

> 「技、体は整っていた。心の部分に揺らぎがあったのは。」とありました。
 本当のところはどうなんだろうね？
 井上康生選手なんかとは次元がちがうのでなんともいえませんが、俺の感覚では、技、体が整って、心が揺らぐってありえないんだけど。
 まあ、バランスってのは確かに感じる。単純な足し算ではない感覚。心6 + 技10 + 体10 = 26ではなく、心6にひきずられて技、体も6相当の力しかでない、つまり、6 + 6 + 6 = 18になってしまう。
 という意味で相手の心技体が上回っていたということはあり得る。
 そんなことはさておき、今回の柔道は、一本が多くて実におもしろい。負けたって納得できる。
 一本の取れる柔道！あすかい、一本の取れるグラススキー！ヨーロッパ勢に見せてやれ！
 ってそれはどんなグラススキー??

2.4.6 図太く生き様!

投稿者: asukai
 Eメール:
 題名: 図太く生き様!

2.5 2004.08.21

2.5.1 チェコから連絡が!!

投稿者: 中野 さとる
 Eメール:
 題名: チェコから連絡が!!

今、GSを滑り終わり・・・なんと！今までのベストリザルトでGS10位!! これからSGが始まるそうです。SGはコー

今から出発です。そんな核心に迫る質問されたら気になって出発できね - - - !!! 一晩寝て怒りは少し収まりました。聡君に「首我さん土曜日定時にゲート前で待ってます」と電話してあげてください。そして、「携帯のつながらないここには行くな!」と・・・(冗談) 負けたの? こちらは「カヌー」とか「サイクリング」「ハンドボール」とかばかりが中継であり見れていません。「カヌー」って面白いよ。スキーのSLのばっかり!スロバキアでアベック金だった。他の選手の国別並びもあるペンスキーみたいだった。でも、気にしてみます。TVのダイジェストやITでも、結果は逐一。井上選手の場合。もし負けたら柔道辞めれる。PRIDEへ億万長者(初回4試合の契約金は一億円だって) 柔道では無差別とダブルでとってこれ以上にはならない...これじゃー誰だって心が揺るぐ...先ずこれが心。その1

他国の選手を見て「いいなーこんなでオリンピック出れちゃうんだな - ...外国では...」大学の後輩で3つ下の階級の方が強そう...「ぶっちゃけ、オリンピックより、国内のトリアルの方が大変でしょ? また、「合宿」要するに練習相手が強すぎる。筋繊維は自然と細くなります。これが体
 技については心から来る「ひらめき」が多くを占めるんでしょう。ごーやんは自身の経験から、心の数値が他の数値を下げる事を悟っているらしい。グラススキーもまさにこれ、大会じゃなくても実感できるでしょ。

そして、大会になれば世界チャンプほどマークがきつくなったりいろいろな意地悪にあいます。重量級の選手は昔から「けんか大将」みたいな人種の集まりでそもそも「極悪レベルが高い」脚払い「ローキック」襟を取るの「ただの渾身のパンチ」まあ、いろいろあるでしょう。

1本を取れるグラススキーぶっちゃけ今までの遠征では常に帰国後のことを考えていました。今回は初めから「最高のパフォーマンスをするか、アクシデントに見舞われるか」しか、考えていません。心の状態がどうあるかは滑りはじめないと解らないのでこれ以上は言えません。

2.4.7 心の数値

投稿者: Sayaka
 Eメール:
 題名: 心の数値

心の数値が他の数値を下げる。すっかり忘れかけてたけど、私もそういうことを何度も経験してたのを思い出しました。心を強く持ったとき、自分を信じる気持ちが強かったときにそれが成功につながったこと。なんだか逆に自分が励まされたような気がしました。

ス距離が650メートルと偉く長いそうです。滑りは!「まあまあ通用してる!」とのコメントでした。チェコはテレビもないし建物ひん曲がってるし、インターネットはないしチョー最悪だそうです。「明日のSLが終わったらさっさとオーストリアに帰りたい」とも言っていました。SG、SLも頑張っって好成績を取るように皆さんで、日本から応援してください! フレー! フレー! ア・ス・カ・イ!!

2.6 2004.08.23

2.6.1 国内組も善戦

投稿者: やまちゃん
Eメール:
題名: 国内組も善戦

あっすーその後はどう?国内組は、外山ヘッドコーチのもと都留の月例に参戦してきましたよ。さんちゃん、飯塚父、俊介、すー、山内の5名が参戦。さんちゃん今期初勝利!やったー!!某女子選手を除き、全員2本揃えて4位、5位、6位と全員入賞!国内組もがんばってるよ~。

2.7 2004.08.24

2.7.1 皆さんがんばってますね - 。2004 グラス スキー WC 転戦記更新中!

投稿者: asukai
Eメール:
題名: 皆さんがんばってますね - 。2004 グラススキー WC 転戦記更新中!

ごーやん。進化した誤字脱字も再現できるかな?大会に出た皆さん。私もがんばってますよ。でもイマイチだったかな?詳しくは日記で!

<http://psdaichi.ld.infoseek.co.jp/cgi-bin/diary2/diary2.cgi>

2.7.2 全日本選手権に

投稿者: asukai
Eメール:
題名: 全日本選手権に

チェコチームババー(イングリット)中心のオーストリアチーム参戦決定です。1週間前の週末グラススキー教室、DLWHカップ(ふじてんスノーリゾート)は「ヤン・ネメツ」選手「カタリーナ・ネムコバ」選手(女子世界第2位)来場決定!詳細はまた後程!!!

2.8 2004.08.25

2.8.1 一気にいっぱい更新しました。

投稿者: asukai
Eメール: campione@mail.com
題名: 一気にいっぱい更新しました。

<http://psdaichi.ld.infoseek.co.jp/cgi-bin/diary2/diary2.cgi>
2004 グラススキー WC 転戦記更新しました。また、SLの直角カーブ アシュナウのゲレンデの写真をもう少し良いものに変えました。以前のは画質を落としすぎて見にくかったですね。オリンピック凄いな!日本で最近取組んでいる多くの「面白おかしい」練習が身を結んだのかな?「グラススキービクス」もきっと世界に通用します。って言うか大会に始まったゲレンデでスタートの合間を縫ってコース上で180連続してたら、みんなビビってた。そう言えばそのときだけ良かったな...格闘技系が強いのも日本の誇りです。若いやかいのになめられないですむし...今日なんかシュ先生に直下降とジャンプの練習させられて「殺す気か?!」「浜口父呼んでくるぞ!」っていったら「いやいやこの練習はスーパーGに...」なんてもごもごしてました。

やまちゃん。さんちゃんはとうだった?その風貌に進化を感じた?ところで誰が4 5 6だったのよ?

倉本さん。オーストリアから沢山新しい練習メニューのお土産を持って帰ります。

2.8.2 WC 転戦 楽しんでますか?

投稿者: 飯塚
Eメール: asukaph@mail.wind.ne.jp
題名: WC 転戦 楽しんでますか?

毎回写真を見て思うのですが、ヨーロッパの選手のかい事、あの人たちと互角に戦うことと敬服しまくりです。ゲレンデの状況のハードさ(実際の状況は知りませんが、コースの長さや斜度など)その中で笑顔で楽しんでいる姿を見ると、オリンピックの選手と同じように内に秘めたパワーを感じます。(そこが俊介にほしいところ)長く一緒にトレーニングを積んで学んでもらいたいです。必死の中にも笑顔で立ち向かう姿 カッコええです!!psこの間の都留月例SLは 1位 外山(1本目セッター)2位(石川 ゴエモンセッターを抜くと1位) 3位 平野俊一(2本目セッター) 4位 やまちゃん(セッターを抜くと2位) 5位俊介(セッター抜くと3位)6位飯塚父(セッター抜くと4位)でした。まだまだ面白いと思っているうちは技術の向上ありとみてます。がんばってください。チャンピオーネ!!

2.8.3 使い方が5段活用に....

投稿者: ごーやん
Eメール:
題名: 使い方が5段活用に....

DLWH News > 「進化したフップインサイド」を使えば
ほとんど疲れない

2.8.4 進化の過程

投稿者: さんたまりあ
Eメール:
題名: 進化の過程

出た！5段活用！！

そしてヘッブ... 最終的にはホップインサイドまで.....

2.9 2004.08.26

2.9.1 明日からまたチェコへ行きます。

投稿者: asukai
Eメール: campione@mail.com
題名: 明日からまたチェコへ行きます。

明日夜から公式練習・キャプテンミーティングが始まります。今度は少しでもアウエイを感じない事を祈って...引き続きトライはしますが、ネットは出来ないと思います。何かあれば遠慮なくお電話下さい。090 3042 9826

飯塚父様笑顔は写真のときだけです。後は大体引き攀つてます。ヨーロッパの選手を見ていて、でかくてパワーのあるだけの選手はまだ救いがあります。今年更に進化した「ヤン・ネメツ」選手は身のこなしからしてオリンピックの陸上競技100mを走っている選手級の基礎運動能力があります。もう手の施しがありません。例えば全日本選手権で中尾山のコースで仮にこのまま進歩のない「さんちゃん」辺りと競争した場合、種目に関らず「1本で7秒から9秒」位の差がつくでしょう。これは根拠のある現実的な数字です。

数年前から鎖国状態の日本グラススキー界が、目を覚ます絶好の機会になる事を期待します。因みにババー（イングリッ

ト、オーストリア)に勝てる日本の男子もいないかもしれませ
ん。同じコースを滑る羽目にならないことを祈りましょう。斉
藤さんは今の段階でのあのレベルの選手達の来日がどう言う
ことになるのかいろいろわかっているんだと思います。日本の
未来の為に無駄だとわかっているけど、さんちゃんに期待す
るしかないのです。でもこれじゃー...

2.9.2 遠い空からの激励ありがとう

投稿者: さんたまりあ
Eメール:
題名: 遠い空からの激励ありがとう

> 根拠のある現実的な数字
「ヤン・ネメツ」選手参戦の速報を見て3秒や4秒軽く離
されてしまう自分を想像して、「これじゃいけない」と自分を
戒めていたところ7~9秒という数字現実を見つめる作業は
怠らないようにしながらも...
...

2.10 2004.08.27

2.10.1 おーヨセフ！

投稿者: やまちゃん
Eメール:
題名: おーヨセフ！

あっすー元気？グラススキーとプレート届いたかな？さて、
ヨセフは、まだりハビリ中なんだね。一度、パパといっしょに
日本に呼びたいね。それにしてもシュビンカのお家きれいだ
ね。もしかして手作り？料理もおいしそう！！しかし、ネメツ
ツ来日かあ、すごい事になったね。この週末、日本は天気が悪
そうなんだけど、きちんと練習してきます。

2.11 2004.08.28

2.11.1 チェコより

投稿者: 中野 聡
Eメール:
題名: チェコより

飛鳥井さんから今連絡が入りました。昨日からレースが始
まりGS、昨日は一本目でコースアウト今日は一本目で30位
以内に入れず二本目には残念ながら進むことが出来なかった
そうです。残りのレースで納得のいく結果を残せる様に頑張っ
てください!!! それと、怪我をしないで無事に帰ってきてくだ
さい。

2.12 2004.08.31

2.12.1 無事に帰国しました.

投稿者: asukai

Eメール:

題名: 無事に帰国しました.

台風の余波で風が強く、着陸の際には最高にスリル満点で

した. 機内はなぜか着陸成功と同じに拍手が...

さて、この度は私の「2004グラススキーWC転戦」に際しこの掲示板を始め多くのご声援ありがとうございました. 結果はまだまだ評価して頂けるほどのものではありませんが、この挑戦をはじめて8年目にして、はじめて「表彰台」を想像することができました。このまま続けていればいつか必ず「表彰台の中央へ...」今後とも変らぬ御声援をよろしく願いいたします.